

## 僕が体験したこと

### 久留米聴覚特別支援学校 六年

皆さんは耳が聞こえなくなったら、どうしますか？

僕は小学一年生の時、だんだん耳が聞こえなくなりました。周りの人が何を言っているかわからなくなりました。クラスの席が前になって授業の板書を読んでなんとなく分かりました。友達が何を言っているか分からず、いやでした。

それから、この久留米聴覚特別支援学校にきました。指文字を覚えて、手話を覚えました。手話や指文字を覚えたおかげで先生や友達と話しやすくなりました。前の小学校と比べて、今の方が楽しいです。この学校に来てよかったなと思います。でも、家から遠いので、もっと近くに学校があったらいいなと思います。

お店やホテルに行った時には、お店の人たちが手話を使えたらいいのになと思います。僕は口を見てなにを言っているか読み取ることがあ

ります。でも、最近はマスクをしている人が多くて困ります。なので、なにを言っているか予想して「うん」や「いいえ」と言っています。お店では、セルフレジを選んで行ったり、言われることを覚えたりしています。セルフレジがあるところに行ったら何も言われなくて自分で会計をすることができます。もし、お店以外のところに行ったら「電話お願い手帳」を使って話そうと思います。

「電話お願い手帳」とは、聞こえない人が何かを伝える時に使うものです。聞こえない人が住みやすい環境になってほしいです。

そして、僕もこれから一人でも生きていけるように努力して頑張ります。